

第591回 新潟放送番組審議会 議事録

審議番組

ラジオ・テレビ連動番組 「情熱にいがた」



平成 25 年 10 月 31 日

BSN新潟放送

第591回新潟放送番組審議会

1. 開催日時 平成25年10月31日(木)午前11:00~

2. 開催場所 新潟放送本社 6F会議室

3. 委員の出席

委員側出席者(敬称略・順不同)

委員長	松川公敏	委員	高井盛雄
委員	佐々木広介	委員	正道かほる
委員	古賀豊	委員	齋藤俊太郎
委員	小島良子		

委員側欠席者

副委員長	相羽利子	委員	渡辺隆
委員	行形貴子		

放送事業者側出席者

社長	竹石松次	専務	梅津雅之
常務・編成局長	水田義雄	報道制作局長	五十嵐幹史
営業局長兼ラジオセンター長	斉藤和利		

説明員 編成局編成部長
大黒康臣

事務局

事務局長	小原弘志	(社長室長)
事務局員	増山由美子	(考査広報部長)

4. 議題

・審議番組

ラジオ・テレビ連動番組	「情熱にいがた」
放送日時	テレビ 10月19日(土)10:18~10:30
	ラジオ 10月20日(日)8:15~8:30

5. 議事の概要

～番組審議委員の主な意見・質問～

ラジオ・テレビそれぞれの特性を生かした構成である。違いが出ていておもしろい。「新潟の若者へのメッセージ」がとても良かった。青少年に見てもらいたい、聞いてもらいたい番組である。

ラジオ、最後の「思い出の一曲」は必要か？短い放送時間の中で曲をかける時間がもったいない。ゲストの山本善政社長の話をもっと聞きたかった。

経営者だけでなく、いろいろなジャンルで活躍する人の話が聞きたい。女性もどんどん取り上げてほしい。

身近にある県内企業・よく見聞きする企業の経営者が考えていること、その企業の歴史などを知ることができて興味深い。

取り上げる企業について、消費者の声や社員のインタビューなど第三者の声が入るとさらに説得力が出てくるのではないか。

コンパクトによくまとまっていた。山本社長の人間性も伝わってきた。

テーマ曲について。穏やかな感じで悪くないが、番組タイトルに合わせてもっと情熱的な、インパクトのある曲も検討してはどうか。

新潟でがんばっている企業を紹介することは、子どもたちが新潟をもっと好きになり誇りに思うことにつながる。新潟の企業の良さを伝えてほしい。

～竹石社長から～

この番組は、ラジオとテレビを持つ新潟放送の特性を生かしたいと思い企画した。

様々なジャンルで活躍する方々からのメッセージが子どもたちに与える影響は大きいと、私たちも考えている。青少年に見て、聞いてほしい。

～大黒プロデューサーから～

貴重なご意見ありがとうございました。

テーマ曲は、上越市在住・増井健一さんの「故郷の桜」という曲。故郷を離れて頑張る人たちに向けて「故郷の桜はいつまでも咲き続ける。いつでも見に帰ってきて」とエールを送る内容。番組コンセプトに合うと選定した。

土曜日にテレビを見た人にさらにラジオも聴いてほしいと思い、テレビで紹介できなかった内容をラジオに盛り込むというスタイルで構成し、制作している。

ゲストについては、経営者だけでなく様々な分野で活躍する人たちを考えている。

長寿番組になるよう取り組んでいきたい。